

▼笑顔のもみさん



100歳の長寿者激励

東円堂の荒木 もみさん（大正11年3月4日生）が100歳のお誕生日を迎えられました。

もみさんは、縫製のお仕事をしておられました。手先が器用で針仕事が好きなため着なくなった着物を新たにポーチなどの色々な物にリメイクされていました。現在はデイサービスを楽しみに通われています。

ご家族は「100歳を迎え、これからも健康に暮らしてもらいたい」と話されていました。

町内に100歳以上の方は、3月7日時点で13人おられます。皆様がいままでご健康でお過ごしくださいようお祈りいたします。

▼愛荘さくらを守る会の皆さん



第10回おうみ社会貢献賞受賞

3月16日、愛荘さくらを守る会が第10回おうみ社会貢献賞を受賞されました。この賞は、まちの活性化に寄与する活動に取り組む団体等を公益財団法人滋賀県市町村振興協会が表彰するものです。

同団体は平成28年に結成され、町内の公共施設、神社、河川沿いなどに生育する約1,300本のさくらの剪定管理や植樹活動を精力的に展開されてきました。表彰を受けて、須田 誠一会長は「受賞を誇らしく思う。これからも会員の皆さんと楽しく活動し、地域を盛り上げていきたい」と喜びの言葉を話されました。

▼笑顔の勝間さん親子



「読書でガチャコン」表彰式

3月12日、昨年6月から今年2月28日まで図書館で実施した読書記録の取り組み「読書でガチャコン」で、たくさん本を読まれた方の表彰を愛知川図書館で行いました。

「読書でガチャコン」とは、近江鉄道をモチーフにした用紙に読書記録をつけるもので、2020年度から開催しています。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況から、今回の表彰式は一番たくさん台紙を提出されたお子さんのみの招待となりました。「読書でガチャコン」にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

▼思い思いの作品を作る皆さん



ハーバリウム教室を開催

3月19日、ラポール秦荘いきいきセンターで愛荘町シルバー人材センター主催のハーバリウム教室が開催されました。参加された方はシルバー人材センターの方々の指導の下、個性あふれる多彩なハーバリウムを作られました。

愛荘町シルバー人材センターでは、地域貢献活動として様々な活動に取り組んでおられます。

今後も地域に根ざした取り組みを計画されておられますので皆様ご参加ください。



▼1口プラス10回噛むを習慣に



「健口いきいき文庫」贈呈式

3月24日、「健口いきいき文庫」の贈呈式を愛知川図書館で開催しました。

昨年度に引き続き、輪田会長（湖東歯科医師会会長）、曾我常務理事（曾我歯科医院院長）から茶谷図書館長へ目録と書籍が手渡されました。輪田会長は「コロナ禍でマスクを着用されていますが、歯と口の健康を保つことはとても大切です。ぜひ役立ててください」と述べられました。

寄贈された図書は、図書館のほか町内施設で活用していきます。

▼みんなが使いやすいトイレ



ゆうがくの郷のトイレとベンチリニューアル

この度、ゆうがくの郷に設置されているすべてのトイレを、洋式トイレ（自動水洗式）にリニューアルしました。

これまでのタイル張りの床は、清潔感のある乾式フロアーシートになり、非接触型自動手洗い器も完備し、館内の雰囲気にあわせた木目調の落ち着いた内装になりました。

身体障がい者用トイレは、「だれでもトイレ」として生まれ変わり、オストメイト対応トイレを新設しました。

▼荻田さん（中央左）と塚本さん（中央右）



自衛官募集相談員連名委嘱式

3月25日、自衛官募集相談員連名委嘱式が役場愛知川庁舎で行われました。今回、塚本 綾子さん（東円堂）と荻田 津留夫さん（島川）の2名が自衛官募集相談員に選ばれ、有村町長と浅田自衛隊滋賀地方協力本部長の連名で委嘱されました。

有村町長から「自衛隊と地域を結ぶ役割として、一人でも優秀な方が自衛官を志してくださいようご協力をお願いしたい」と激励の言葉が送られました。また、浅田本部長からは「保護者が安心して入隊する子どもを送り出せるよう、情報提供などに協力いただきたい」と期待の言葉が述べられました。

さらに、こどもの本コーナーには、かわいらしいこども専用のトイレを設置し、隣接する授乳室には、哺乳瓶などの洗い物ができるミニキッチンを新設しました。

また、公園ベンチなども改修し、屋外でも安心して読書を楽しんだり、空の下でのんびり外の空気を楽しんでいただける環境に整えました。

生まれ変わった安心で快適なトイレや、気持ちのいい公園ベンチで、ゆっくりと読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

▼ゆったりとしたベンチ

